

第4学年 特別活動（学級活動）学習指導案

日 時 平成24年11月27日（火）5校時
児 童 4年生 男8名 女11名 計19名
指導者 加藤 貴之

I 題材名 「とよまね(笑)がっこうらしいイベントをしよう」

II 題材について

本題材は、学級活動の内容〔第3学年及び第4学年〕における「学級を単位として、協力し合って楽しい学級生活をつくとともに、日常の生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと」にかかわるものである。

中学年では、学級生活を楽しくするとともに、学年全体にも目を向け、互いに理解し合い、思いやり、みんなで協力し合って、進んでみんなのために働くなど、自発的、自治的に楽しい学級生活をつくろうとする態度の育成を図る活動内容に重点を置いている。また、よく考えて行動し、節度ある生活をするとともに、目標を立てて自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げるなど、意欲的に達成しようとしたり、自分の特徴に気付き、よいところを伸ばし集団の中で生かそうとしたりする態度の育成を図る活動内容に重点を置いている。

年度当初の児童は、学級の仲もよく、明るく楽しい学級生活を送ってきた。しかし、控えめな児童が多く自分の考えを言える児童は少なかった。また、自分のよいところはどこか自覚している児童は少なかった。そこで、行事など様々な場面で各自の目標をもたせてやり遂げさせ、振り返りの中で自分のよさ、友達のよさを考えさせることで、まずは児童一人一人が自分のよさを見つけ、自己を理解し、自尊感情をもてるようにするための活動を行ってきた。さらに、互いのよさを見つけ合う活動を通して、他者を理解し、互いに尊重し合う態度の育成を図ってきた。それにより、学級の中で一人一人が安心して、自信をもって発言できる学級の雰囲気ができあがり、自分の意見を積極的に発言できる児童が増え、話し合い活動に対する素地は出来上がってきている。

本題材の前には「みんなで協力して楽しめる遊びを考えよう」という題材で学級活動を行った。一人一人が自分の考えをもち、積極的に話し合いに参加し、休み時間を使ってみんなで決めた遊びを楽しむことで、学級内での児童同士のつながりを深めることができ、学級の絆を高めることができた。そこで本題材を通してさらに自主的、実践的な態度を育て、学級への所属感を高め、高学年に向けての自覚と実践力を高めていきたいと考えた。

指導にあたって、事前の活動では、前回の「みんなで遊ぶ活動」が話し合いによってどのような成果があったのか振り返らせ、みんなで協力して自主的、自治的に活動することのよさを実感させる。

それにより、自分たちの力で新たなイベントを企画し、協力して実践していききたいという思いをもたせる。イベントについて事前に「学級活動カード」に自分の考えを記入させ、一人一人が考えをもち発言につなげていくことができようにする。それをもとに学級執行部で事前に話し合い、本時の議題を決定させる。

本時の活動では、提案理由を掲示しておくことで、話し合いの方向を常に意識させるようにする。

また、「学級活動カード」をもとに自分の考えと友達の考えを比べながら聞いたり、理由を明確にして意見を述べたりして、積極的に話し合いを進めることができようにしていくが、思考が停滞した場合は周りの友達と相談する時間を設けて協力して考えることの大切さにも気付かせたい。話し合いでは賛成か反対かだけでなく、改善策を考えさせることで合意に向けた折り合いのつけ方も学ばせたい。

振り返りの場面では、自己評価により自分のよさや友達のよさ、みんなで話し合ったことのよさを実感させ、実践への期待感を膨らませることができようにする。

決定した内容の実践では、準備や途中経過の段階で問題が生じた場合はその度に共通理解を図り、学級全体で解決できるよう支援していく。また、一連の活動の中で児童の姿を適切に見取り、効果的な称揚に努めることで、児童一人一人が学級や学校の一員としての所属感を高めていけるようにする。

Ⅲ 評価について

観点	集団生活や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団生活や生活についての 知識・理解
趣旨	学級や学校の集団や自己の生活に関心をもち、望ましい人間関係を築きながら、積極的に集団活動や自己の生活の充実と向上に取り組もうとしている。	集団の一員としての役割を自覚し、望ましい人間関係を築きながら、集団生活や自己の生活の充実と向上について考え、判断し、自己を生かして実践している。	集団生活の意義、よりよい生活を築くために集団として意見をまとめる話し合いの活動の仕方、自己の健全な生活のあり方などについて理解している。
計画・進行	自分の役割を自覚し、積極的に計画立案や話し合いの進行をしようとしている。	話し合いのめあてや話し合いで気をつけることについて考えたり、判断したりできる。	提案理由や時間を考え、計画的な話し合いの進め方を理解している。
話し合い活動	自分の考えをもって話し合いに参加しようとしている。	提案理由に沿ってよりよい内容を考えることができる。	話し合いの基本的な約束を理解している。
実践	決定したことについて、進んで準備や計画に取り組もうとしている。	決定したことや自分の役割を考え、協力して実践することができる。	学級全体のためにと意識をもつことの大切さを理解し、実践するための手立てを理解している。

Ⅳ 本題材の指導計画

月/日	時間	参加児童	主な活動内容	指導上の留意点
11/12	帰りの会	全員	前回の実践について振り返り、成果と課題を明らかにする。	協力すること、自主的に活動することのよさに気付かせる。
11/13	放課後	計画委員	全員の振り返りをもとに、議題について話し合う。	担任の思いも伝えながら、一人一人の意識を高めていくための議題を考えさせる。
11/14	昼休み	計画委員	話し合う議題と提案理由を確認し、話し合いの計画を立てる。	提案理由についても計画委員全員に共通理解させる。
11/15	帰りの会	全員	計画委員が議題と提案理由を説明し、全員で提案に対する自分の考えをアンケートに書く。	提案理由を掲示し可視化することで、提案理由に沿った考えをもたせる。
11/19	昼休み 放課後	計画委員	アンケートの回答をもとに、議題に対する案の絞り込みを行う。	全員の考えをまとめ、提案理由を意識させながら絞り込ませる。
11/21	帰りの会	全員	計画委員が絞り込んだ案に対して、自分の考えを学級活動カードに書く。	自分の考えに対する根拠も書かせる。
11/26	放課後	計画委員	役割分担の確認と話し合いのシミュレーションを行う。	話し合いのイメージをもたせ、自信をもって進められるようにする。
11/27	学級活動 (本時)	全員	みんなが協力して行うイベントについて話し合う。	賛成か反対かだけでなく、合意に向けた折り合いのつけさせ方を考えさせる。
11/28	昼休み	計画委員	具体的な方法や日程を考える。	問題が生じたときは、学級全体で解決を図る。
12/	学級活動	全員	決定した取り組みを実践する。	児童一人一人の姿を適切に見取る。
12/	帰りの会	全員	実践について振り返り、成果と課題を明らかにする。	一人一人のがんばりを認め、達成感を味わわせる。

V 本時の指導

1. ねらい

- (1) 提案理由に沿って考えたり、友達の考えのよさに気付いたりして、学級全体を考えた話し合いができる。
- (2) 実践活動への意欲を高めることができる。

2. 展開

活動の流れ	子どもの活動	指導上の留意点
1. 始めの言葉 (1分)	・ 議長のあいさつで開会する。	○ 気持ちのよいあいさつにより、話し合いに対する意識付けを図る。
2. 係の紹介 (1分)	・ 自己紹介をする。	○ 今日の話し合いに向けての抱負も述べさせ、意欲を高めさせる。
3. 議題の確認 (1分)	・ 議題を発表する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 一人一人が協力して、全員がやってよかったと思えるようなイベントを考えよう。 </div>		
4. 提案理由の説明 (2分)	・ 提案者が提案理由を説明する。	○ 参加者全員が話し合いの方向を常に意識して話し合えるよう、提案理由を掲示しておく。
5. めあての確認 (1分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 友達の考えと自分の考えを比べながら聞き、理由をつけて考えを発表しよう。 </div>	○ 児童の判断材料になるように、決めておいた条件を確認させる。
6. 話し合い (30分)	・ 絞り込んでおいたいくつかの案を議長が提示し、その中から決めていく。 ・ 考えを交流し、内容を決定する。 出し合い 比べ合い 学び合い まとめ合い	○ 話し合いを深めるために、提案理由に沿って、事前に案を絞り込ませておく。 ○ 話し合いの方向がずれている場合は、提案理由に立ち戻るように助言する。 ○ 話し合いが停滞した場合は、グループで話し合う時間を設定し、提案理由に沿って考えさせる。 ○ グループで話し合った場合は、発表のさせ方を考慮する。 ○ 内容を整理しながら比べ合っているように、担任が必要に応じて助言する。
7. 決まったことの確認 (1分)	・ ノート書記が発表する。	
8. 話し合いの振り返り (5分)	・ 学級活動カードに振り返りを記入し、発表する。	○ めあてをもって話し合いに参加できたか、自分や友達のよさをみつけられたかについて振り返り、話し合いの価値付けを図る。
9. 先生の話 (2分)		○ 話し合いの態度、内容、計画委員のがんばりなどを褒め、一人一人に実践への思いをもたせる。
10. 終わりの言葉 (1分)	・ 議長のあいさつで閉会する。	